

成長、信頼・安心、笑顔の香川を目指して

1. はじめに

香川県では、これまで瀬戸内海の島々を含めた県全体を田園都市と見立て、都市の持つ「活力や利便性」と田園や海の持つ「ゆとりややすらぎ」を兼ね備えた瀬戸内香川の生活圏域づくりを進めてきました。

こうした中、今後の県勢をさらに発展させるため、昨年度に策定した「新・せとうち田園都市創造計画」に沿って、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、「せとうち田園都市の新たな創造」の実現に向けて、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点を置き、各種施策を進めています。

2. 成長する香川

(1) 四国における拠点性の確立

四国における中枢拠点機能を向上させるため、都市機能の充実を図るほか、高松空港の利便性の拡大、幹線道路や港湾の整備、新幹線を含めた鉄道高速化の検討など、陸海空の結節機能を強化するとともに、瀬戸内沿岸との連携を推進しています。

高松空港へのアクセス向上による利便性の拡大に向けて、現在、高松空港と高松自動車道を結ぶ県道円座香南線（地域高規格道路）について、道路改築事業を進めています。

また、重要港湾である高松港において、国際物

流ターミナルの整備に取り組んでおり、平成23年度のマイナス12メートル岸壁の暫定供用開始以降も、航路浚渫や、埠頭用地・臨港道路の整備を進めています。

これらの施策を通じ、交流人口の拡大や経済活動を支える産業基盤を強化し、地域経済の活性化を図りたいと考えています。

(2) 建設業の担い手確保・育成等

建設業は、社会資本整備の担い手であるとともに、災害発生時の応急復旧活動や公共土木施設の維持管理にも多大な役割を担っていることから、本県では、県内建設業者の持続的な発展に向けた取組みを推進しています。

入札契約制度の改善等を通じて、建設労働者の処遇改善や建設工事の生産性の向上などに積極的に取り組み、県内建設業者の担い手確保・育成や働き方改革の推進を図ってまいります。

3. 信頼・安心の香川

(1) 周到な防災・減災対策

今後、30年以内の発生確率が70%程度と高まっている南海トラフを震源とする地震や大規模な風水害などの危機の発生に備え、ハードとソフト両面での総合的な対策を計画的に進め、一人ひとりの命を守る地域づくりに努めています。

ハード対策としては、南海トラフ地震の被害想定を踏まえ、平成27年3月に「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」を策定し、地震直後に堤防等が沈下し、甚大な被害が想定されるなど、

香川県知事 **はま だ けい ぞう**
浜田 恵造



特に優先度の高い箇所について、重点的・集中的に対策工事を実施しています。さらに、近年頻発している局地的な集中豪雨による災害を未然に防止するため、河川改修や砂防施設の整備等の災害予防事業を推進しています。

また、ソフト対策として、河川の浸水想定区域等の指定による警戒避難体制の充実や、民間企業等のBCPの策定支援などにも取り組んでいます。

(2) 安心につながる社会資本の整備

幹線道路等の整備を推進するとともに、公共土木施設の老朽化対策や安定した水資源の確保・供給を図り、安全で安心な住みよい県土づくりを推進しています。

公共土木施設の老朽化対策として、平成20年度に策定した「香川県公共土木施設アセットマネジメント基本方針」に基づき、施設ごとの長寿命化計画を順次策定し、必要な対応を計画的に実施しています。

また、治水対策と、安定した水資源の確保・供給のため、県都・高松市の水道用水やかんがい用水の水源である香東川水系において、現在、多目的ダムのかぼがわ栴川ダムを建設しています。平成26年度にダム本体工事に着手し、昨年12月にはコンクリートの打設を開始するなど、平成33年度の事業完成を目指して、工事が本格化しています。

(3) 交通事故のない安全安心な香川

交通事故のない香川の実現に向けて、交通事故分析の高度化を図り、歩行空間の確保や見通しの悪い交差点の改良、自転車歩行者道の整備等を行

うとともに、事故から身を守る行動の大切さを伝える広報啓発活動や交通安全教育などを住民、関係機関・団体等県民総ぐるみで展開しています。

4. おわりに

本県では、国内外から旅行先として「選ばれる香川」となるよう、瀬戸内海をはじめとする豊かな自然やアート、歴史、文化などの地域資源を生かし、積極的なプロモーションや全県的な「おもてなし運動」を含む受入環境の向上など、様々な観光振興策に取り組んでいます。

今年、5月末から6月初めにかけて開催された日台観光サミットは、歓迎晩餐会をはじめ、日台観光サミット会議や四国の観光地視察などの一連の行事を成功裏に終えることができました。この期間中には、国内外から参加された皆様に、香川や四国の魅力を十分に御堪能いただけたのではないかと考えています。

また、来年は、瀬戸大橋の開通から30周年という節目の年に当たることから、メモリアルイヤーとして記念事業を開催します。

こうした機会を生かして、本県の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大や地域の活性化につなげてまいりたいと考えています。

来年1月には、一般社団法人全日本建設技術協会主催の建設技術講習会が、本県で開催されますので、皆様方には、ぜひ、本県にお越しいただき、「うどん県。それだけじゃない香川県」の魅力を御堪能いただければ幸いです。